



輝北の少年団と
笑顔で交流

12月10日、百引多目的グラウンドで「MORI ALL WAVE KANOYA交流会」が行われました。これは、輝北町を拠点に活動している女子プロソフトボールチームの選手と輝北町にある5つのスポーツ少年団の児童たちとの交流を目的とするもの。参加した児童は、準備運動や基礎体力作りを学び、また、一緒にロングティーやミニゲームを行うなど親交を深めていました。



吾平にまつわる
神話でまちおこし

12月10日、コミュニティセンター吾平振興会館で「神話のまちづくりフェス『吾平物語』」が開催されました。これは、吾平の神話を生かした地域振興等に取り組むために美里吾平コミュニティ協議会が行ったもの。当日は神話にまつわる講演や歌ステージのほか、吾平町出身の演出家である松永太郎さん率いる劇団ニライスタジオ創作の吾平神楽が初披露されました。



娘の実話を通して
命の大切さを訴える

12月3日、市文化会館で「鹿屋市人権問題講演会」が行われました。今回は元フリーアナウンサーの道志真弓さんを招き「笑顔の戦士」と題し、世界で数十例しか見られない症例「14トリソミー」という難病を患い、8歳で他界した娘の実話を交えて、命や家族の大切さや生きることについて話しました。講演には352人の聴衆が集まり、時折涙を浮かべながら真剣に耳を傾けていました。



地域おこし協力隊
鳥越さんが着任

令和4年12月から、鳥越佳那さんが本市の新たな地域おこし協力隊員として着任しました。鳥越さんは前職のテレビアナウンサーとしての経験を生かし、かのやPRレポーターとしてSNS等を活用した情報発信やふるさと納税返礼品の紹介、各種イベントでのPR活動を行う予定。着任にあたり鳥越さんは「大好物の唐芋を軸に食の宝庫・鹿屋を全国に発信したい」と抱負を語りました。



台北教育大学と
連携協定を締結

12月12日、英語教育の進む台湾の国立台北教育大学や9つの小学校と本市が交流協定を締結しました。この協定は遠隔授業や動画交換、短期留学などを行い、子どもたちの語学力の向上や文化交流を進めるもの。今後は、毎年10人程度の教育実習生を受け入れるなど、英語や国際交流がより身近なものとなる企画を行い「英語のまち鹿屋」に向けた一層の推進を図ります。



女子による女子の
ためのサイクリング

12月11日に「地域おこし協力隊presents 女子会カフェライド」が実施されました。これは、女性サイクリストの増加などを目的として本市地域おこし協力隊の高田奈生隊員が企画したもの。7人の参加者は市役所を出発し、どっ菜市場(笠之原町)などで休憩しながらお昼頃には吾平山上陵でランチを楽しむなど、往復約35kmの道のりを楽しんでいました。



地域一体となった
認知症対策

12月4日、中央麓地区ふれあいセンター(吾平町麓)で「徘徊模擬訓練」が実施されました。認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくために、中央麓町内会や鹿屋市キャラバン・メイト連絡会の協力のもと美里吾平コミュニティ協議会が行ったもの。当日は寸劇による声掛け事例を行った後、模擬訓練としてエリア内にいる徘徊者を探して行方不明者に配慮した声掛けを実践していました。



世界のクリスマス
を英語で学ぶ

12月4日、カピックセンターでクリスマスシーズンの到来を告げる英語イベント「Winter Wonderland」が開催されました。これは、ALT(外国語指導助手)から世界で行われている様々なクリスマスの特長や楽しみ方などを英語で教えてもらうイベント。参加者は、クリスマスにちなんだ音楽やゲームのほか、スノードーム作りなどを通して世界のクリスマスを体験しました。



6人の中学生が
県選抜選手に

12月12日、「第36回JOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学バレーボール大会」の選手に選ばれた本市の学生6人が市役所を訪れました。同大会は12月25日～28日に大阪府で開催されます。



経営は健康から
研究成果を報告

12月12日、鹿屋肝属法人会青年部会とその関係者が市役所を訪れました。同会は「第36回法人会全国青年の集い沖縄大会」の健康経営大賞において、従業員の健康に伴う研究成果のプレゼンテーションで最優秀賞に輝きました。



首都圏IT企業がサテライト
オフィスを開設

12月8日、株式会社テクノエイジ(本社:東京都)の関係者等が市役所を訪れました。同社は、市産業支援センター内にサテライトオフィスを開設し、本社で行っているシステム開発業務等の一部を同オフィスで行います。



輝北で3年ぶりに
福祉イベント

12月6日、輝北ふれあいセンターで「輝北町合同福祉スポーツ大会」が行われました。コロナの影響で3年ぶりとなった今イベントには、地元の高齢者など約100人が集まり、健康体操やゲームなど4つの競技を楽しみました。



人権週間に合わせて
様々な取り組みを学ぶ

12月5日～9日、市役所で「人権週間啓発パネル展」が開催されました。これは、様々な人権問題を自分の問題として捉え、お互いを尊重し合うことの大切さを学ぶもので、訪れた人は性的マイノリティなどについて理解を深めました。



スタンドアップパドルボード
SUPで全国優勝
次世代を担うエース

11月29日、全日本SUP選手権大会で優勝した芝原叶妃さん(第一鹿屋中3年)が市役所を訪れました。SUPはボードの上に立ち、パドルを漕いで海面を進むスポーツ。芝原さんは今後、国際チームで活動する予定です。